

がんを狙い撃ち

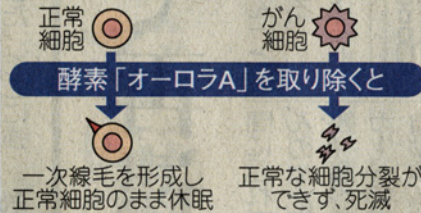
細胞分裂の酵素 取り除くと…

細胞分裂に必要な酵素を取り除くと、がん細胞が死滅する一方で、正常な細胞は生存すること。愛知県がんセンター研究所の稲垣昌樹部長や猪子誠人研究者らのチームが発見し、米科学誌「ジャーナル・オブ・セルバイオロジー」に掲載した。正常な細胞への影響が少ないことで、副作用の低い抗がん剤の開発が期待される。

愛知県がんセンター研

細胞分裂には、正常と子宮頸がん細胞を比較した。がん細胞は細胞分裂が正常に起こらず、酵素「オーロラA」が働いている。死滅した。グループは、オーロラAを欠如させた人間の細胞を培養。正常細胞を培養。

がん細胞だけを死滅させるメカニズム



低リスク確認 応用期待

稲垣部長は「抗がん剤開発には、正常細胞への影響を懸念する視点が必要。オーロラAだけを抑制する治療薬の開発により、患者へのダメージが少ない治療が期待される」と話している。

正常な細胞は生存するため、脱毛などの副作用が軽減され、抗がん剤の投薬量を増やす可能性が高い。チームは今後、子宮頸がん以外のがん細胞でも調べると、実用化に向けて治療も始まっている。しかし、副作用につながる正常細胞への影響は確認されていない。